



ファミサポ協力会員  
小林 秀子さん(62)  
米山町八軒小路

ことをしたい」「子や孫が遠くにいて寂しい」「子どもが好き」など、協力会員になる理由はさまざまです。

協力会員の小林秀子さんは幼稚園で20年間勤務し、現在は、南方サポートセンターで支援員をしながら、ファミサポの協力会員として、子育てに奮闘しているお母さんたちを支えています。

「今でもこうして子どもたちに囲まれて仕事ができ、本当に幸せです」と小林さんは笑顔で話します。

「私が子育てをしていた頃は、ファミサポや子育て支援センターのようなものはありませんでした。私自身、仕事が休めない時に、ちょっと子どもを預かってもらえる場や頼める人がいると助かるなど

思っていました。今、子育て中のお母さんたちと接していると、市外から引越してきた人の多さに驚きます。そのお母さんたちは知らない土地で、頼める人がいない中で、子育てを頑張っています。通院などの短時間でも、助けが必要としている人の援助ができればと思い、協力会員になりました。ファミサポ以外にも、例えば近所の人が悩みを聞いてあげるだけで、子育て中の人の気持ちが楽になると思います」と地域で支え合う大切さを訴えます。

**地域の愛があなたを支えます**

大切な子どもを、知らない人に預けることに抵抗がある



## 支え合い、助け合い

ファミリー・サポート・センター事業は、子育てをしているお父さんお母さん、子ども、協力してくれる地域の皆さんが笑顔になれることを目指しています。

お互いの信頼関係のもとに、地域であなたの子育てを支えます。



ファミサポ協力会員の皆さん

地域で支え合う  
「ファミサポ」

ファミリー・サポート・センター事業(以下、ファミサポ)では、育児の手助けが必要な「利用会員」と地域で育児の手助けができる「協力会員」がそれぞれ会員登録し、地域で子育てを支援。市内に「住んでいる」または「勤務している」生後2カ月から小学生までの子どもがいる人が利用できます。出産予定日の1カ月前から出産後3カ月の人も、家事などのサポートが受けられます。

ファミサポは「仕事ですぐに子どもを迎えに行けない」「行事やイベントに参加する用事がある」「たまには子どもを預けてリラクゼーションしたい」「妊娠しているので、家事を手伝ってほしい」など、さまざま理由で利用されています。

4月1日現在、協力会員が62人、利用会員は120人、両方に登録している会員8人が、子育てを支え合っています。

### 新たな生きがいにも

利用会員を支えるために、なくてはならない協力会員。「地域のために何か役に立つ

人もいると思います。ファミサポでは、利用会員と協力会員の交流会を定期的に開催し、信頼できる協力会員に預けることができます。

引越してきたばかりで、周りに頼れる人がいない人や共働きで頑張っている夫婦のために、ファミサポが地域の愛であなたを支えます。詳しい内容を知りたい場合など、まずは、市ファミリー・サポート・センター事務局(南方子育てサポートセンター内)まで気軽にご連絡ください。

☎0220(58)5558

### ●利用料金と報酬

区分	時間帯	1時間あたり	以降30分ごと
平日	午前7時～午後7時	600円	300円
土日、祝日	年末年始、上記以外の時間外	700円	350円

※おやつや食事、紙おむつ、送迎時のバス・タクシー代などは利用会員負担です  
※2人目(兄弟・姉妹)からは、半額になります

### 協力会員講習会を開催

#### ■協力会員の条件

- ▶市内に居住している心身共に健康な20歳以上の人
- ▶自宅で安全にお子さんを預かることができる人
- ▶登米市が主催する協力会員講習会を受講した人

#### ■協力会員講習会の日程

【日時】6月3日(月)午前10時30分～午後3時15分  
(受け付け=午前10時15分～)

【場所】南方子育てサポートセンター(研修室)

#### ■講習会の時間と内容

午前10時30分～正午	子どもの事故、事故防止、応急処置に
午後1時～1時15分	市ファミサポ事業の説明
午後1時15分～2時15分	子どもとの関わり方(講話)、遊び方(実技)
午後2時20分～3時	子どもの心と身体の発達について

【申込方法】電話

【申込期限】5月28日(火)

【受講料】無料

【申し込み・問い合わせ】市ファミリー・サポート・センター事務局(南方子育てサポートセンター内)

☎0220(58)5558

### interview



荒川 香澄さん(35)

南方町北本郷

私は、通院などの時によくファミサポを利用しています。最初は、知らない人に子どもを預けることに抵抗がありました。子育て支援センターで出会った支援員が協力会員と知り、利用するようになりました。

夫の転勤で八王子市から引越してきましたが、八王子市のファミサポは、協力会員を選ぶことができました。結局、一度も利用することなく登米市に来ましたが、こちらでは協力会員を選ぶことができるので、安心して任せられます。

普段はアパートで生活していますが、子どもたちは協力会員の広い家で遊ぶことを、毎回とても楽しみにしています。散歩に連れていってもらった時に、いろいろな発見があるようで、楽しそうに話をしてくれます。今では親子とも安心してファミサポを利用しており、心の支えにもなっています。

### interview



遠藤 晶子さん(33)

南方町狼狽

私は神戸市出身ですが、結婚して登米市に転入し、今は4歳と2歳の息子がいます。自分に子どもができて初めて、身内が近くにいない環境で子育てすることの大変さや心細さを感じました。夜泣きで寝不足になりながらも、日中は子どもから目が離せず、男の子2人の活発さに疲れ果てていました。そんなとき、市の助産師さんにファミサポを勧めてもらい、登録しました。

現在は、近所の人たちにお世話になったり、月に1回の通院の際にファミサポを利用したりしています。子どもたちも帰ってくるたびに笑顔で、今日の出来事などを話してくれます。「もう迎えるにきたの」って言われることもあるくらい楽しい時間を過ごしているようです。

近所の人やファミサポのように、地域の人たちに支えてもらいながら、子どもたちが成長していることにとても感謝しています。